

5月14日に臨時議会を開催
新しい議会構成が
決まりました!! (4Pをご覧ください)



新しい十日町市議会がスタート

このたび、議員の皆さま方のご
推挙により、副議長に選任いただ
き、その職務の重さに身の引き締
まる思いです。コロナ禍において、
市民の命を守り経済を守るため、
誠心誠意努めてまいります。十日
町市の発展、市民生活の向上のため、
議長を補佐し、努力を重ねて
まいります。皆さまのご指導、ご
鞭撻をお願い申し上げます。



市議会副議長
宮沢幸子

副議長あいさつ

このたび議長にご推挙いただき、
誠にありがとうございます。前期
に引き続きの議長ですが、改めて
責任の重さを痛感しています。議
会改革を通し、議員の議会活動の
可視化を含め、これからの議会の
在り方を早急に検討し、市民の皆
さんが信頼のできる、期待される
議会を目指し頑張りたいと思っ
ています。よろしく申し上げます。



市議会議長
鈴木一郎

議長あいさつ

1 山家悠平

(木 落)



まずはユーチューブやティックトック、フエイブック等で学生や市民へ外国語等の勉強法や就職、進学の手援を行いたいと考えています。ご興味のある方、SNSやメールでご連絡ください。

3 中林寛暁

(本町西1丁目)



市政や市を作り上げていくのは行政や市議会ではなく市民だと考えています。皆さんの声をしっかりと聴き、行政へ届け、市民、行政、議会が一体となり作り上げていく十日町市を目指します。

5 滝沢貞親

(春日町1丁目)



未来を担う子どもたちが、将来に夢を描ける取り組みを進め、誰にとっても当たり前のことを大切にする地域社会をつくるため、農業を中心とする地場産業振興と教育環境整備に力を注ぎたい。

7 富井春美

(新座第4の1)



市民の声を反映させ、市民に優しい市政を目指します。「福祉・暮らし最優先」で医療・介護の充実、国保税の軽減、豪雪対策、子育て支援、分ける喜びのある教育環境の充実に取り組みます。

9 根津年夫

(千代田町)



コロナ禍における経済支援に全力で取り組み、子育て支援と雇用環境の充実、災害に備えた道路整備、高齢者の生活支援を行い、子どもから高齢者まで安心して暮らせるまちづくりを目指します。

11 水落静子

(願 入)



市民の安全安心な暮らしを守るため、皆さまの心に寄り添いながら活動します。人口減少問題、基幹産業の農業と産業の活性化、議員定数削減を含めた議会改革を、4年をかけて取り組みます。

2 嶋村真友子

(黒 倉)



新人議員として、市政や議会のことをじっくり学び、多くの人のもとに足を運びます。今ある地域資源、人も自然もより輝ける環境づくりのために動いていきます。「みんなでやろっそ！」

4 鈴木祐一

(昭和町4丁目)



市民の声を市政に届けられるように皆さんのさまざまな話を聴くことを大事に考え行動していきます。市民と行政をつなぐ架け橋となり、楽しめる十日町を目指し市民目線で考え努力いたします。

6 関口立之

(南新町2丁目)



私自身が40数年ぶりにUターンし、十日町の方々と自然の営みに触れて、その輝きに新たな感銘を受けました。今度は日本中の人々に輝きを伝える番。一生の縁をつくる努力を重ねてまいります。

8 星名大輔

(伊 友)



円滑なコロナワクチン接種、飲食業と感染予防の両立を図る認証制度「山梨モデル」などを参考に十日町市ならではの取り組みを訴える。将来、未知の感染症にも対応できる地域社会を目指す。

10 富井高志

(馬場第1)



皆さまからのご支援を原動力として、また、初心を忘れることなく、市民の幸せのために、粉砕身働いてまいります。引き続き、ご支援・ご指導をお願い申し上げます。

12 滝沢 繁

(兎 口)



市民の生活第一、苦難軽減へ、この道しかない。まずはコロナ対策。感染対策は防疫のためのPCR検査、2つ目は自粛を求める十分な保障、3つ目は医療機関への助成をするべきと考えます。

13 山口康司

(仁田)



子どもたちをより大きく育てていくため、子育て支援を進めます。高齢者、障がい者の方たちのため、今まで以上に取り組みます。地域要望の強いインフラ整備を進めます。

15 福崎哲也

(伊達第4)



人口減少により、市民負担の考え方や行財政の見直しは必要です。近隣市町と広域連携も考え、主要道路整備の早期開通と市民の健康寿命の延伸に力を入れていきたいと思っています。

17 高橋俊一

(千手上町)



住民や団体からの思いや願いを伺い、市内外の状況を確認しながら、より良い環境を作り出します。特に喫緊のコロナ感染対策を推し進め、産業、福祉、防災、交通、教育の充実へ向かいます。

19 遠田延雄

(川治内後第2)



我々に期されたことは、市民のためになるよう選択しなければなりません。このことを強く感じる大事な選挙であったと思います。市民本位の十日町市に全力で挑戦し、ガンバリたいと考えております。

21 鈴木和雄

(倉俣)



コロナ感染の心配がなく安心して暮らせる「まち」づくりを目指します。子どもたちが健やかに成長することを願い、地域のシンボルである学校を守り、中山間地域の農業振興に力を注ぎます。

23 小林正夫

(木島)



子どもたちやお年寄り、弱者などと共生するまちづくり。地域資源や伝統・文化に配慮した活力あるまちづくり。大胆な議会改革、定数削減を目指します。現職議員で前期、削減に賛成は私一人でした。

14 大嶋由紀子

(四日町中原)



三期目も市民の皆さんと行政とのパイプ役となり全力で皆さんの声を届けることに邁進します。十日町市で暮らす人がここで生活して幸せと思えることを第一に!!市民の命と生活を守ります。

16 村山達也

(松代)



みんなが安心して住み続けていただけるように、子育て世代や高齢者の皆さんなどの市民目線に立ち、不安を抱えている人に寄り添う。困っている人の声を聴く。現場第一主義で努力していきます。

18 吉村重敏

(中条峠)



新型コロナウイルス禍の救済、国道歩道事業の推進、ポストコロナのまちづくりに努力します。地域活動、地域づくり事業は親子祖父の三世代協働で実行することが「ふるさと教育」と主張します。

20 小嶋武夫

(新町新田)



十日町市の主要産業が思い当たりません。織物産業に支えられたのは、はるか昔のことです。広域合併以来の課題である農業基盤のまちづくりに改めて立ち向かう覚悟であります。

22 宮沢幸子

(大黒沢第1)



最優先はコロナ対策です。いのち輝く地域を目指して暮らし、子育て、高齢社会を支え、赤ちゃんからお年寄りまで元氣と希望を持てる地域づくりを現場第一主義に徹して全力で取り組みます。

24 鈴木一郎

(白羽毛)



十日町市に安心して暮らしてもらうには、経済的に安定することが第一と考える。そのために農業、商業の発展がかかせない。コロナ禍の中、大変難しい問題。学校統合も正面から考えたい。

議会構成が

決まりました

●議長 鈴木 一郎

●副議長 宮沢 幸子

●監査委員 遠田 延雄

●議会運営委員会

委員長 吉村 重敏
副委員長 根津 年夫
委員 富井 高志
委員 水落 静子
委員 滝沢 繁子
委員 福崎 哲也
委員 高橋 俊一



新しい顔ぶれによる議案審議

●総務文教常任委員会

委員長 福崎 哲也
副委員長 星名 大輔
委員 中林 寛一
委員 鈴木 祐一
委員 滝沢 貞親
委員 吉村 重敏
委員 小林 正夫

●産業建設常任委員会

委員長 村山 達也
副委員長 富井 高志
委員 山家 悠平
委員 嶋村 真友子
委員 関口 立之
委員 根津 年夫
委員 小嶋 武夫
委員 鈴木 和雄

●厚生常任委員会

委員長 高橋 俊一
副委員長 山口 康司
委員 山井 春美
委員 富井 静子
委員 水落 静子
委員 大嶋 由紀子
委員 遠田 延雄
委員 宮沢 幸子

【所管事項】

福祉課(福祉事務所)、市民生活課、子育て支援課、発達支援センター、健康づくり推進課、新型コロナウイルス接種対策室及び地域ケア推進課所管に関する事項

【所管事項】

産業政策課、農林課、観光交流課、建設課、都市計画課、エネルギー政策課、環境衛生課、上下水道局及び農業委員会所管に関する事項

【所管事項】

企画政策課、総務課、財政課、防災安全課、税務課、会計課、教育総務課、学校教育課、生涯学習課、文化財課、スポーツ振興課、文化観光推進室、議会事務局、選挙管理委員会及び監査委員所管に関する事項。その他、他の常任委員会の所管に属さない事項

※厚生常任委員会の定数は8人ですが、議長は常任委員会の委員を辞退する申し合わせになっているため、7人となっています。

◆十日町地域広域事務組合議会議員

山家 悠平
嶋村 真友子
根津 年夫
富井 高志
山口 康司
大嶋 由紀子
村山 達也
鈴木 和雄
宮沢 幸子
鈴木 一郎

◆津南地域衛生施設組合議会議員

滝沢 繁
鈴木 一郎
鈴木 木一

◆議会だより編集委員会

委員長 水落 静子
副委員長 関口 立之
委員 嶋村 真友子
委員 中林 寛一
委員 鈴木 祐一
委員 富井 春美



新・議会だより編集委員

あとがき

4月25日に市長および市議会議員選挙が執行され、5月14日の臨時議会で市議会もそれぞれ構成が決まりました。

議会だより編集委員は、3常任委員会から2人ずつの選出で構成されており、このたびは初当選議員5人と2期目の私でスタートいたしました。

議会だよりは、市長から提出された議案の議決結果をはじめ、議会活動や一般質問などをお知らせする広報紙としての厳粛な使命と、市民の皆さまが議会を身近に感じられる「たより」としての役割があると思っています。

市民の皆さまから親しまれる議会だより編集になるよう努めてまいります。

水落 静子

発行：新潟県十日町市議会
編集：議会だより編集委員会
〒948-8501
十日町市千歳町3丁目3番地
TEL 025-757-3119
FAX 025-757-5999
E-mail: t-gikai@city.tokamachi.lg.jp